

光明学園と保護者をつなぐ
健康の橋



東京都立光明学園（肢・病併置校）
令和3年1月15日（金）発行
健康・安全・安心の架け橋通信^②
校長 田村 康二郎

1月8日（金）緊急事態宣言が東京都等に発令されました。学校は、ここまで構築してきたノウハウを活用して、できる限りの感染予防策を講じながら、教育活動を積み重ねていきます。

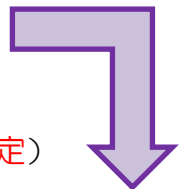
感染拡大防止対応策を保護者の方々と共通理解を図るツール「健康・安全・安心の架け橋通信」は、令和3年も適宜発行していきます。

学校への連絡をお願いします（再掲・再確認）

連絡が遅れますと、校内での濃厚接触者を特定するための学校・保健所が行う判断作業開始が遅れ、結果として休校せざるを得なくなったり、休校期間が増えたりする要因となってしまいます。下記に該当する場合は昼夜を問わず、速やかに連絡ください。

<連絡を要する場合>

- ① 学園生が医療機関等において PCR 検査等を受けることを勧められた場合
- ② 学園生が濃厚接触者となった場合
(家族、入所施設、通所施設等周囲の感染が判明し、保健所が濃厚接触者に特定)



①・②の段階で、学校から東京都に報告し、学校は様々な想定をした準備に入ります。そのため、検査を受けることを勧められた時点・濃厚接触者に特定された時点で、すぐ学校に御一報ください。

- ③ 学園生の PCR 検査等の結果が分かった場合

<連絡先>

平日 8:30~17:00

* 学校代表電話(3323-8421)へ、副校長へ連絡をお願いします。

平日上記時間外・土日祝日

* **感染対策用の公用携帯電話**に連絡をお願いします。

副校長

泉 慎一

石川 拓

秋本友美



感染予防のためのお休みは「欠席」扱いとはしません

感染予防のため、主治医や御家庭の判断により、登校を控える場合は「欠席」にはなりません。

「出席しなくてもよい日」となります。これは「授業日から除外する」という考え方に基づく配慮措置によるものです。感染予防のために「連続する5日間以上」の給食を欠食する場合は、前々週の金曜までに学校所定の用紙「欠食届」を担当に御提出ください。給食費の返金対象となります。

しかしながら、年間の給食費のとりまとめの時期にあたるため、欠食届の申請は**2月5日（金）を年度内の最終とさせていただきます。**

なお登校を控えているため、欠食届の用紙を受け取れない場合には、どうぞ担任まで御相談ください。

参考情報：全国の学校状況（感染者数等）

文部科学省公表データ（1月5日）によりますと、昨年6月から12月末までの国公立の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の在籍児童・生徒と教職員の感染者数等の状況は下表のとおりです。

全国の小・中・高・特（約3万6千校）の総計	児童・生徒 約1269万人	教職員 約991万人
感染者数	6159人	830人
感染者の内、重症に至った人数	0人	2人
感染者の内、症状有の割合	48%	76%
感染者の内、感染経路が校内であった割合	16%	14%

また、11月25日から上記集計の12月末までの間で、感染者数は、幼児児童生徒が1.9倍、教職員は、1.8倍となり、1か月余りで2倍近くに増加したとのことです。また、学校における集団感染の状況ですが、同一校で2人以上の感染者が生じたケースは533件、10人以上の感染者が生じたケースは、41件とのことです。

上表の内、特別支援学校児童生徒のみの状況は下表のとおりです。

全国の特別支援学校（全障害種1149校）の総計	児童・生徒 約14万人	特教職員 約9万人
感染者数	79人	59人
感染者の内、重症に至った人数	0人	推測0~2人
感染者の内、症状有の割合	42%	75%
感染者の内、感染経路が校内であった割合	8%	10%

特別支援学校児童・生徒の感染経路の内訳は、家庭内17%、校内10%、家庭・学校外活動8%、感染経路不明64%だそうです。

全国の特別支援学校では、各保護者とその御家庭と教職員が一体となって感染予防に努め、感染者数を最小限に食い止めていることが、この表からも読み取れます。いつも御協力をありがとうございます。